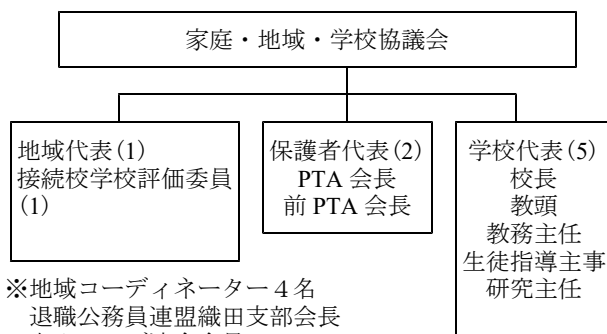


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



※地域コーディネーター4名
退職公務員連盟織田支部会長
老人クラブ連合会員
織田女性の会会員
萩野小学校関係者評価委員

(2) 協議会の内容

- ①開催回数 3回
- ②開催日程
5/9、1/15、2/17
それぞれ15:30より開催
- ③協議内容
 - ・趣旨説明と活動計画
 - ・スクールプランと学校評価
 - ・「地域と進める体験推進事業の説明
 - ・ふるさと学習の推進
 - ・職場体験の充実

(3) 協議会における成果と課題

- ・地域の自然・歴史・伝統文化などの学習材や人材を活かした特色ある学校づくりに、保護者・地域と連携して取組むことができた。特に、地域の活動や課題に対して、生徒の主体的な関わりを促すことができた。
- ・学校評価を活かして学校運営の目標や取組について情報を共有し、改善策を考えることができた。
- ・地域の小学校と連携した地域ぐるみの取り組みのいっそうの充実を図る。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

生徒が地域に関わる体験学習を通して、ふるさと織田や福井県に誇りと愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成する。

(2) 活動の実際

①地域の課題を理解しよう（2学年）

織田地区の事業所での職場体験でふるさとの産業や仕事について学び、京都研修では織田地区の文化や産業と比較できる場所を選んで見学し、観光地としての情報発信の仕方や伝統産業の継承の在り方について学んだ。

②地域に貢献しよう（全学年）

劔神社の例大祭「おたまつり」の衰退を憂え、賑わいを取り戻そうと奮闘する地域の方の声を聞き、多くの生徒が時代行列に出演したり、伝統芸能「だいずり」に参加したりして祭りを盛り上げた。また、祭りの後には、



時代行列に出演

3年生が劔神社周辺の清掃活動に取り組んだ。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・学校行事や公開授業を積極的に参観してもらい、生徒や学校の取組を知ってもらい、ふるさと学習についての助言をいただいた。
- ・生徒が地域の課題を発見するきっかけとなる職場体験について、事業所の選びや体験学習の依頼、活動の見守り、事後報告会の参観や講評に携わってもらった。



劔神社の清掃ボランティア

(4) 特に工夫した事項

- ・生徒が、体験を通して課題を見つけそれを解決しようとする過程で、ふるさとに誇りや愛着が持てるよう学習を計画した。
- ・地域コーディネーターや保護者の協力のもと、地域の施設や人材を活かし、生徒の思いやニーズに即した体験学習になるよう活動を進めた。
- ・一つ一つの体験学習が、それ以前の学習や以後の学習とつながり、深まっていくよう配慮した。

(5) 成果と課題

- ・学校評価アンケートにおいて、「地域の良さや課題を学び、ふるさと織田に愛着を持てた生徒が90%以上」という目標に対し、肯定的に回答した生徒が90.7%となった。地域の方々と直接かかわりながら学ぶことにより、ふるさとについての理解が深まり、積極的に関わろうとする意欲が高まっているといえる。
- ・今年度、小中連携して作成した「ふるさと学習カリキュラム」をもとに、系統的に実践を重ねていくことが課題である